

2024年の一文字は「昇」 市場での存在感を上昇させる年、生成AIを積極活用

株式会社ワークスアプリケーションズ（本社：東京都千代田区、代表取締役最高経営責任者：秦修、以下、WAP）は1月19日に新年会を開催し、2023年の成果を振り返りつつ、2024年の経営方針について社員に説明しました。秦は「皆一丸でやってきた。ようやく経営品質の改善が達成できた」と2023年を総括し、「新たなステージに立った」として2024年を「市場での存在感を一気に上昇させる年」と強調しました。新年会の後半では、コミュニケーションの一環として「WAP 福笑AI コンテスト」を実施。社員たちがAIを活用して経営陣の似顔絵を生成し、競い合うことで、生成AIへの理解を深めました。



2024年の一文字は「昇」

1. 全社一丸の経営品質を評価 ビジネスチャンス逃さず新たなステージへ

新年会は、国内社員の約500人が参加しました。冒頭、秦が2023年を振り返り、売上は力強く推移し、営業利益は大きく飛躍したと報告しました。「製品開発の灯」を灯し続け、「お客様との伴走」を徹底し、「信頼関係」を築き新規ビジネス獲得に繋げ、規律・統制を守り、人的資本投資にも注力してきたことで企業活力が回復し「一丸となって経営品質が確立できた」と評価しました。

2024年については「2027年問題の本格化」「コンポーザブルERPの浸透」「生成AIの発展」「企業間取引デジタル化の加速」「人材不足懸念の深刻化」といった社会の変化を大きなビジネスチャンスと捉え、最適なソリューションを提供し続けることで「市場での存在感を一気に上昇させていく」と意気込みを語りました。また、「生成AI活用コンテスト」を開催して社内から生成AIを活用したアイデアを募集し、ビジネスで実用可能な優秀なアイデアには賞金100万円が贈られることを発表しました。

2. 生成AIで福笑 活用に繋げる一歩に

新年会後半では、「WAP 福笑AI コンテスト」が行われました。4人1組のグループが生成AIアプリを使用し、複数条件を組み合わせて経営陣の似顔絵を作成。「もっとも似ている似顔絵」や経営陣の「お気に入り」が選ばれ、その似顔絵を作成したチームには豪華賞品が贈られました。



生成AIで作成されたCEO秦の似顔絵

【ワークスアプリケーションズについて】

ワークスアプリケーションズは、1996年の創業以来、日本発の業務アプリケーションのパッケージソフトウェア会社として、主に国内の大手企業向けに製品・サービスを提供してまいりました。「働く」の概念を変え、仕事をより創造的なものへ、企業の生産性を高め、企業価値を拡大する、この企業理念のもと、ERPを軸としたソリューションプロバイダーとして、大手企業に加えて中堅・中小・スタートアップ企業のDX推進のパートナーとなるよう、さらなる発展を目指していきます。

株式会社ワークスアプリケーションズ サイト <https://www.worksap.co.jp/>

*会社名、製品名およびサービス名は各社の商標または登録商標です。

*本リリースに掲載された内容は発表日現在のものであり、予告なく変更または撤回される場合があります。また、本リリースに掲載された予測や将来の見通しなどに関する情報は不確実なものであり、実際に生じる結果と異なる場合がありますので、予めご了承ください。

■本件に関するお問い合わせ先

TEL : 03-3512-1400 FAX : 03-3512-1401 Email : pr@worksap.co.jp

株式会社ワークスアプリケーションズ 広報担当